

H21 年度秋田大学研究者海外派遣事業により 実施した研究・教育活動の成果報告について

平成23年12月 9日

所属・職名：教育文化学部・准教授

氏 名：鈴木正明

派遣先機関名：南カリフォルニア大学 (国名：アメリカ)

派遣期間：平成21年9月9日～平成22年3月18日

研究課題・目的：曲面の写像類群の代数的構造に関する研究

研究成果（列記願います）

・論文

An epimorphism between knot groups which does not map a meridian to a meridian,
Twisted topological invariants and topology of low-dimensional manifolds, (2011)
pp. 135–139

・学会発表

自由結合代数の微分のなすリー代数のアーベル化, 研究集会「リーマン面に関連する位相幾何学」2011年9月3日

・その他

教育活動等（列記願います）

なし

**海外派遣事業中の教育・研究活動が、帰国後の研究等の活動にどのように反映されたか
概括ください。**

派遣事業中に訪問先である University of Southern California の Robert Penner 氏と議論したことを用いて、現在その研究を継続している。それらの研究を含めて、上記の学会発表を行った。

また、滞在先に近い Pitzer College の Jim Hoste 氏と結び目群の全射に関して議論することができ、帰国後もそれらについて議論をメールなどでやり取りをしている。それらの議論などを深めることによって、上記の論文を執筆した。